平成21年度
高崎市P連
かわら版
第4号

高崎市ＰＴＡ連合会
児童・生徒30126人
編　集　情報委員会
発　行　高崎市P連
平成21年4月1日現在

高崎市PTA連合会

市P連　ホームページ　http//www. takasaki-pta-net.com/

かわら版第四号では、バザーを取り上げてみました。まずはバザーは必要なのか？から始まり開催の時期、規模の違い、収益の使用目的などそれぞれ学校においての考え方があるようです。特に今年はインフルエンザの流行もあり中止もあったようです。バザーは資金集めという主たる目的はあるものの、大変だけど楽しかったなどの交流の意味も大きいと感じました。親同士の交流も大きいと感じました。親同士の交流も大きいと感じました。親同士の交流

「目玉商品のオークション」

南小では毎年六月中旬にバザーを開催しバザーにまわす品物は、各地区の回収と出場の会員の協力をお願いしています。今回は目玉商品のオークションを行います。今年の目玉商品は、上品なお皿のセットや、風船つりそばセットなどです。ヨいがだ

≪南小≫

「えのきっず」

北小では子供にも携帯バザーに参加してもらおうと他の物販などの時間を見計らってバザーに参加してもらおうと他の物販などの時間を見計らってバザーに参加してもらおうと他の物販などの時間を見計らってバ